

小児期の膝裏症状から全身に広がった小児アトピーの経過 (10 代女性)

症例 ID：001-10-EMz | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

長女は小学校 4 年生の春に膝裏が少し赤くなる程度の症状から始まりました。ステロイドについての知識がなく、近所の皮膚科で処方されたステロイド剤を使用しました。

薬を塗るとすぐにきれいになりましたが、数か月後に再び症状が出て、同じ薬を使うことを繰り返しました。そのうち薬が効きにくくなり、アトピー症状は全身へ広がり、絶えずどこかを掻いている状態になりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	膝裏症状に対してステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小学校 4 年生頃から断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始後に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学校 4 年生の春	来院前	膝裏に少し赤みが出て、ステロイド外用を始めました。
その後	来院前	症状が出るたびに皮膚科で同じ薬を使うことを繰り返しました。
来院前後	悪化時	アトピー症状が全身へ広がり、絶えず掻いている状態になりました。
治療開始後 2 日目	初期	皮膚がかサカサしてきました。
治療開始後 4 日目以降	強い時期	夜間に強く掻き、朝にはパジャマとシーツが黒っぽい液体で濡れました。上半身の皮膚が引きつり、自分で着替えができなくなりました。頭皮までジュクジュクし、脱毛もありました。
約 3 か月後	経過後半	秋風が吹く頃にはかなり落ち着き、周囲から皮膚状態の変化を言われるようになりました。
治療開始から約 2 年	その後	修学旅行へ行けることができ、花粉の季節も以前ほど気にならない状態になりました。

4. ピーク時期

症状が最も強かった時期は、治療開始後 4 日目以降に夜間の掻破、パジャマとシーツが濡れるほどの滲出、着替え困難、頭皮のジュクジュクと脱毛が重なった約 3 か月間です。

5. 困りごと

- ・夜間に強く掻き、朝起きるとパジャマやシーツが濡れる状態でした。
- ・上半身の皮膚が引きつり、自分で着替えができなくなりました。
- ・眉毛が抜け、顔に傷がある状態で学校へ行くことへの負担がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は約3か月にわたり強い症状が続きましたが、秋頃にはかなり落ち着き、約2年後には修学旅行へ行くことができました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。